

2000年

10月号

Stage Up

生涯学習情報誌
ステージ・アップ

通巻 No. 93



写真：「実りの秋」上原信吉さん

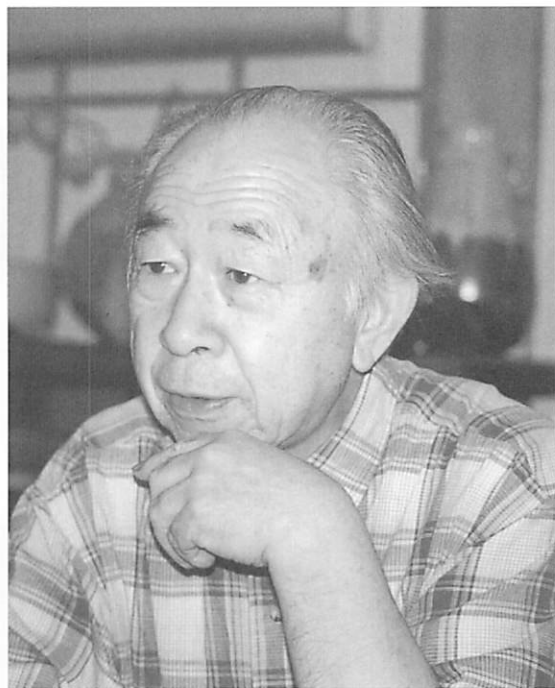
- もくじ**
- 2 特集 インタビュー 山田土筆さん
 - 4 生涯学習ア・ラ・カルト
 - 6 ぐるーぷ BOX / イベントパーク
 - 7 いま地域で学校で
 - 8 暮らし百景 ステージ・アップ柳壇 / まち・ひと・多面体

特集

インタビュー

山田土筆細山美術館館長 山田 土筆さん

いまを話す



新百合ヶ丘駅からバスで10分。ビルが立ち並ぶ駅周辺とは違って、まだ多くの自然を残している千代ヶ丘。草花や木々に囲まれた中に「山田土筆細山美術館」があります。この美術館は1996年に、日本画家の山田土筆さんが開いたもので、第一展示室には「一番星」「里の夕月」「秋耕暮色」など、開発される前の細山の風景を描いた作品が30点あまり展示されています。

山田土筆さんは大学時代に、当時の日展の審査員、田中以知庵氏と出会い日本画の世界へ。高校の数学教師のかたわら日本画を描き続けてきました。美術館開設のいきさつや、来館者との交流について伺いました。

美術館で出会った人から学ぶ 「詩を描く画家」めざし、ふるさと細山を描き続ける

— 美術館を開いて4年、来館された方との交流を通して、どんなことを感じていますか。

山田 ここには、近所の人だけでなく、遠方からもたくさんの方がいらっしゃいました。感想を書くノートが置いてあるのですが、その中にさまざまな思いが記されています。前橋から来た人は「懐かしい母親に会ったような優しさがあふれ出る絵に、しばし時を忘れ涙が出そうでした」と書いています。中学生が「アトリエまで見せてもらってよかった。前に学校の地域学習で来ました。何度来ても感動します」と書いています。結婚記念日に奥様の希望で来館されたご夫婦から「本当に素晴らしい贈り物を頂きました」と言われたこともあります。こういう言葉を聞くと、美術館を開いた意味があったなあと思います。また、来館されたたくさんの方との出会いからいろいろなことを学びましたし、忘れていた大事なことに気付かせてもらったこともありました。

— たとえばそれはどんなことですか？

山田 あるとき、みずほらしい格好をした人が来られたことがありました。その人を見たとき内心「案内するのがいやだな」と思いました。展示室へ入って話をしているうちに、絵に対する造けいがたいへん深い人だとわかりました。その人はパン屋さんで、川向こう（多摩川）から歩いて来られたらしい。「自分も絵が好きで、いつか自分の美術館を持ちたい」と夢を語ってくれました。

私はこのとき、年甲斐もなく見かけだけでその人を判断してしまっておろかさを恥じ入りました。私はこの人との出会いから多くのことを学ぶことができました。美術館は人との出会いの場で、人との出会いの中で常に何かを与えられていると感じています。

— 美術館を作ろうと思ったきっかけは？

山田 私は私立の高校で数学の教師をしていましたが、70歳定年の2年前に退職することにしました。退職すると、生徒たちとかかわりがなくなってしまうのでさびしいな、と思っていました。教え子たちと交流する場を作れないだろうか考えたとき、思い浮かんだのが美術館です。それと、自分を育ててくれた細山に何らかの形で恩返しをしたいという気持ちもありました。細山には独特の文化があり、みんながお互いに助け合った風土があります。美術館を作ったのは「私も何かなくては、ここで私には何が出来るのだろうか」と思ったからです。幸い、私はここが開発される前から、生まれ育った細山の原風景をたくさん描いてきた、それが物置に眠っている。これらを展示して昔を回想したり、地域の変化を知る場を作れたら、と考えました。土地は親から与えられたものだし、自分だけで使うのではなく地域の人たちにも利用してもらおうと思いました。息子が建築家なので設計を頼み、完成したのがこの美術館です。

この美術館の特徴は、現在作家がいて、直接話しがで

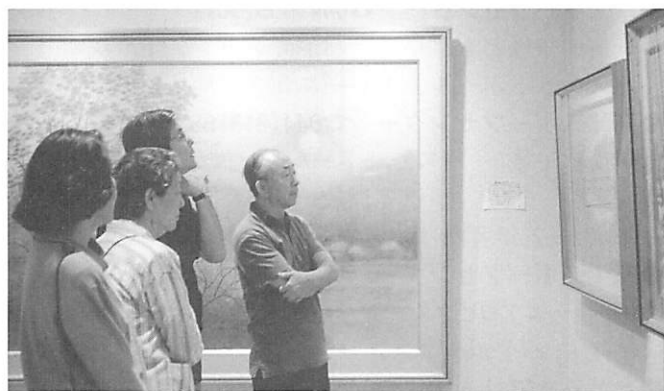
きるし、必要があれば画室（アトリエ）を見ることも、制作の過程を知ることにも出来ることです。

— 美術館を作ると話されたときのご家族の反応は？

山田 特に反対はありませんでした。以前、この美術館がテレビで紹介されたとき、家内もインタビューされ「夫は今まで涙ぐましい努力をして来ました。その努力を長年見ているから、（美術館開設を）反対は出来ません」と答えていました。私はそれをテレビ放映されたときはじめて知って、そういうふうには私を見てくれたんだと…。美術館を無料公開していますので、ときどき維持費のことで「大変なんだよ」と愚痴を言うこともありますが、私のわがままを理解してくれているようです。

— ところで、山田さんは幼少のころから絵がお好きだったとか、どんな子ども時代を過ごされたのですか。

山田 祖父や父も絵が好きだったせいか、私も小さい時から絵が好きでした。小学校時代、学芸会のバックの絵



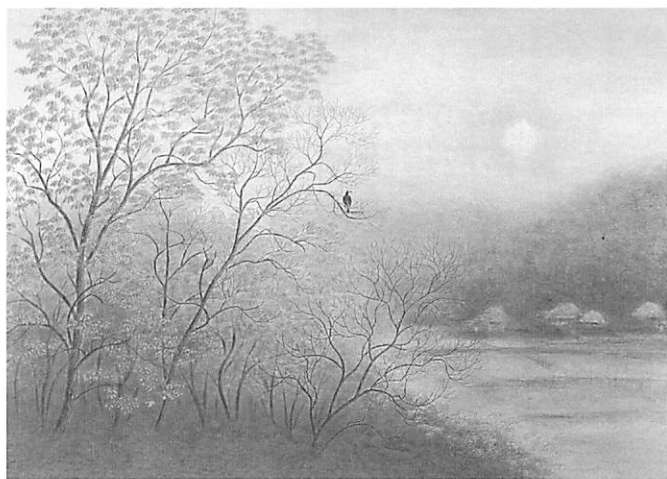
来館者を案内する山田さん(右端 提供写真)

を描かされたこともありましたね。私が子どもの頃、近くの尼寺に絵描きさんが寝泊りして、文展(今の日展)に出品する絵を描いていたのですが、なかなか入選しない。昔から絵描きは貧乏で食べられない。そこで、近くの農家に食べさせてもらいにやってくる。私の家にもよく見えて、食べたあと家族の顔などを描いていました。そういう光景を小さいときからよく見ていました。

また小・中学校時代、日本画の先生に何人か出会いました。特に中学時代、芸大を出て赴任してこられた佐藤多持先生から大きな影響を受け、今でも指導を受けています。その後戦争に行ったり、戦後は代用教員をしてから大学に入り物理学を勉強し、天文学に専念しました。絵とは全く縁がありませんでした。

— 本格的に絵の世界に入られたのはいつ頃からですか。

山田 昭和30年に田中以知庵先生の弟子になってからですね。当時、日展の審査員をしていた先生が同じ村の杵形に住んでおられ、ひよんなことから先生と出会い、お宅に何うようになりました。先生のお宅にはいろいろな分野の芸術家が入り込んでいて、今まで知らなかった世界の話しを聞く機会に恵まれ、そんな世界にすっかりあこがれてしまいました。あるとき、先生に「絵を描くのが好きだ」と話したら「絵をもっていらっしやい」とお



「細山の后映」

っしゃってくださいました。それから五年後、先生の最後の弟子になりました。以知庵先生は「絵は教わるものではない。師はあくまで自然である。自然をよく見てそこからつかみ取ったものがあなたの師なのだ」とおっしゃいました。あるとき、岩を描いた絵を先生に見せたら「これは岩ではない、ジャガイモだ」と言われ「目に見えるものを描くだけではだめだ。物の本質(存在感)を描く、岩を描きたかったら岩になりきらなくては。岩を触って岩と一日遊んできなさい」と話されました。

自分の歩んで来た絵の道を振り返ると、先生との出会いが決定的であったと思うのですが、長い年月の間に育まれたものが、幸運にも素晴らしい人たちに会い、今こうしていただけるような気がします。

— 最後にこれからの抱負をお聞かせ下さい。

山田 私の尊敬している画家の山本丘人さん(創画会創立者、文化勲章受賞)は「絵は人間だよ」と言っておられる。丘さんの絵には詩がある。私は「絵」というのは「詩」だと思っています。感動する絵には詩が感じられます。私も丘さんのような「詩を描く」画家になりたいと思います。それから、私を育ててくれた細山の自然や風物の思い出を描きたいですね。都市化でなにもかも変わりましたが、私の記憶に残っている郷土の姿を、私なりに描き残して行きたいと思っています。

山田 土筆 さん (やまだ・どひつ)

1925年神奈川県生まれ。本名昌一(しょういち)。東京物理学校・東京理科大学物理学卒業。田中以知庵、田中案山子、佐藤多持に師事。田中案山子、前川千帆等の十芳会に参加。元南画院同人、現代水墨派協会理事、大調和会日本画部会員。63年より個展を中心に発表。90年、画業35年の記念展を開催。54年から94年まで実践女子学園に勤務。96年5月「山田土筆細山美術館」を開く。98年、画友会(4人展)を結成。

●まなぶ●

秋からはじめてみませんか
資格取得講座受講生募集

① TOEIC 初級

受験英語より実用英語に興味があり、英語でのコミュニケーション能力の向上を目指している方に最適です！
なんとか意思の疎通ができるといわれているレベル(500点)突破が目標です。

- 【期間】 平成12年11月11日～平成13年3月10日
毎回土曜日 全15回
【時間】 10時30分～12時30分
【費用】 受講料2万円、他に教材費1万円
(IPテスト代込み)
【定員】 25人(応募者多数の場合は抽選)

② TOEFL 初級

英語を母国語としない方がアメリカ、カナダなどに留学する際に、自分の英語レベルを留学先の学校に提示するためのテストです。

- 【期間】 平成12年11月11日～平成13年3月10日
毎回土曜日 全15回
【時間】 13時30分～15時30分
【費用】 受講料2万円、他に教材費1万円
(団体受験料込み)
【定員】 25人(応募者多数の場合は抽選)

③ 社会保険労務士講座

会社の労働、社会保険関係の手続きの代行や、労務管理のアドバイスをすることです。独立の可能性が高い注目の人気資格です。教育訓練給付制度労働大臣指定。

- 【期間】 平成12年11月25日～平成13年3月17日
毎回土曜日 全11回・計66時間
【時間】 9時30分～16時30分
【費用】 75,000円(受講料・教材費込み)
【定員】 50人(応募者多数の場合は抽選)

* 講座会場はすべて新百合21ビル地下2階の川崎市生涯学習振興事業団研修室です。

(小田急線新百合ヶ丘駅徒歩2分)

- 【申込方法】 ①②は平成12年10月10日(火)～13日(金)
③は平成12年10月24日(火)～27日(金)
いずれも10時～16時に電話で申し込み

申し込み先 学習事業室新百合分室 ☎044(952)5000

生涯学習ア

●たのしむ●

「体育の日」施設を無料開放します

10月9日(月)は、体育の日です。市内の各スポーツセンターでは、施設を無料開放し、さまざまな催しを行います。家族そろってスポーツを楽しみ、いい汗かいて心も体もリフレッシュしませんか。

各センターの主な催しは次の通りです。詳細は各センターにお問い合わせ下さい。

◆川崎市体育館 ☎044(200)3255

午前…エアロビクスマラソン、トレーニング室開放(午後も)
午後…バスケットボール、ベンチプレス大会

◆幸スポーツセンター ☎044(555)3011

午前・午後とも、卓球、バドミントン、トランポリン、バスケットボール、トレーニング室開放

◆高津スポーツセンター ☎044(813)6531

午前・午後…バスケットボール、卓球、ソフトバレー、トレーニング室開放、高齢者向け体力作り講習
午後…若年者向け体力作り講習

◆麻生スポーツセンター ☎044(951)1234

午前…エアロビクスマラソン、太極拳、スポーツチャンバラ
午後…パドルテニス、フリーテニス、親子卓球

◆とどろきアリーナ ☎044(798)5000

午前…エアロビクスマラソン
午後…ヒップホップダンス、ダンシングヒーロー
午前・午後…パドルテニス、卓球、トランポリン、シャッフルボード、トレーニング室開放、キッズコーナーあり

◆石川記念武道館 ☎044(544)0493

午前…柔道、合気道、剣道
午後…空手道、少林寺拳法、なぎなた

●さがす●

学びのお手伝いをします

学習情報室では、教育文化会館の1階と高津市民館(ノクティ11階)の生涯学習情報コーナーで相談員が皆さんの学習相談にお応えしています。お気軽にご利用下さい。

◆相談日 教育文化会館情報コーナー…月曜を除く毎日

高津市民館情報コーナー…火・水・木曜の午後

相談内容は多岐に渡りますが、その中でも多い利用者の声を紹介します。

- ・あまり費用をかけずにパソコンを習えるところは？
- ・社交ダンスを始めたいので、市民館で活動しているグループを教えてください
- ・何か習いたいのですがどんな同好会があるのですか？

問い合わせ 学習情報室 ☎044(233)6250

ラ・カルト

●はぐくむ●

自然いっぱいの黒川に来ませんか!

「川崎市黒川青少年野外活動センター」ご案内

川崎市の北西部、緑に囲まれた丘陵地帯、標高110mのところ、黒川青少年野外活動センターがあります。四季折々の恵まれた自然の中で、野外活動に集う青少年たちの歓声が、いつも「どんぐり山」にこだましています。



【活動内容】

動植物観察、天体観察、野外炊事、創作活動、キャンプファイアー、ウォークラリーなど

【利用対象】

児童・生徒などを構成員とする市内の青少年団体、青少年団体指導者、教育委員会が認めた団体

【利用期間】

- (1)日帰り… 利用日の午前9時から午後5時まで
- (2)宿泊… 3泊4日以内(最終日は午後5時まで)

【申し込み】

- (1)日帰り利用は利用月の2カ月前から3日前まで
 - (2)宿泊利用は、利用月の3カ月前から3日前まで
- *夏休み期間の利用は、仮受け付けをし利用日程を調整

◆黒川野外活動センター主催の今後の行事予定◆

- (1) 年の瀬の黒川(餅つき・しめ飾り・焼きいも他)
 - ・日時 12月23日(土) 10時より
 - ・対象 市民(小学3年以下は付き添い必要)
 - ・定員 200人
- (2) 黒川子ども自然教室(写真・野外料理他)
 - ・日程 来年1月～3月(1泊を含む全4回の子定)
 - ・対象 小学4年～中学生
 - ・定員 30人

問い合わせ 川崎市黒川青少年野外活動センター

☎044(986)2511

〒215-0035 川崎市麻生区黒川313-9

ハート & ハーモニー Vol.5

身体が軽くなるということ

「ダイエット」＝「やせること」＝「体重が軽くなること」という安直な考えが流行っているように感じます。ダイエットとは「考えて食べること」ではなかったかと思いますが、「浅い考えでひたすら食べないこと」になってしまったように見えます。特に思春期世代では細ければ細いほど良いという、危なっかしいボディイメージを皆が持っているようです。自分の身体が理想と違って、これを変えたいという気持ち(身体変工願望と呼びます、化粧、入墨、ピアス、茶パツ、などが該当します)は誰もが少しは持っていることですが、健全とは言えないことの方が世の中では流行る傾向にあります。

人間の身体は、骨、内臓、筋肉、皮膚、脂肪(皮下、内臓)で構成されています。重さが別々に計れば、それぞれに適切な範囲があります。この中で恣意的に変えやすいのは筋肉と脂肪で、内臓や骨はいったん削ると回復しない危険があります。減らすことばかり考えていると、動かなければ萎縮する筋肉と、動かなければ燃焼しない脂肪の、どちらが減りやすいかはすぐ納得できます。これが、体重は標準以下なのに体脂肪率が高い「隠れ肥満」の原因です。「肥満」と「やせ」が同時に起こっていて、貧弱な身体に厚い脂肪をまとった人、とも言えます。

健康的で快適に使える身体を維持するためには、それが必要だという刺激を身体に与えることが必要です。ムダ毛を処理するように、筋肉・骨格・内臓を捨て去ることはしないで、運動と食事を考えて実践するのが「ダイエット」と呼べることです。運動の基本は「身体の使い惜しみをしない生活」です。しっかりした身体に薄い脂肪をまとってあれば、自然と身体は軽く動くようになります。体重から体脂肪を引いた除脂肪体重で計算したBMI(除脂肪体重÷身長²)が15以下で「やせ」と判定します。体重と共に体脂肪率を計らなければ肥満もやせも正確には判断できません。

「動いただけ食べる」から「食べただけ動く」に変わった世の中では、基礎代謝の高い身体でなければ、余分に食べた脂肪が身に付き過ぎていきます。身体の重い人ほど「自分は動いている」という意識が強いのですが、実際はしんどいなと思う分だけ動くことがおっくうになっています。調子がいい日には「軽い身体」を感じられる身体の「構造改革」を目標にしていきましょう。

(健康教育担当 スポーツドクター 野田晴彦)

ぐるーぷBOX

“レッツ クリック”で新しい世界と出会う 「パソコンクラブ ウェブ」

「世界が広がり楽しい」「Eメールで子供や孫に写真や手紙を簡単に送れて便利」とパソコンの魅力を語るのは「パソコンクラブ ウェブ」(今井淑子代表、会員35人)の中老年メンバーです。ノートパソコンを持参し操作を覚え、いまでは家計簿や日記をつけたり、年賀状を作ったりと、生活の中でフル活用しているそうです。

同クラブの誕生は昨年9月。今井代表が近所の人から「パソコン教室に通ったが、またわからなくなった。気軽に学べる場があれば…」という声を耳にしたのが発足のきっかけです。

伺ったこの日はエクセル(表計算)ソフトの操作を習っていました。ゲームに熱中する子供のように画面を見つめる会員に、講師の今井肇さんがユーモアを交えながら手ほどきしていました。

今井代表は「ゆくゆくはパソコンを通して中老年と子供が交流できる場を作りたいですね」と夢を語ります。

会員の声「メカに弱い私がパソコンを始めたのは62歳から。年をとってもその気になれば出来るんですね。今はとても楽しいです」。

- ◆活動日：月3回土曜日 10時から
- ◆場 所：幸市民館
- ◆連絡先：☎(544)8954の今井さん



赤十字の精神を生かし手助けする 「ボランティアすずかけ会」

「ボランティアすずかけ会」(長谷八重子代表、会員30人)は1983年、日本赤十字社の救急法正規講習会の受講者たちが「ボランティアの重要性を感じて」発足させた会です。会員は主婦や看護婦、水泳のコーチ、タクシートの運転手などで年代は20～80代と多彩。「自発性・社会性・無償性」の精神で、高齢者の介護、身体障害者の介助やリハビリ訓練、学童保育などの活動を行っています。また発足以来、福祉活動に必要な日赤の救急法・看護法講習会=写真=を年2回、応急措置などの研修会を月1回開催しています。これらの講習を受講した人たちは資格を取り、習得した知識と技術を生かして活動しているそうです。

会の事務所になっている長谷さん宅を訪ねた日、人の出入りと電話の多いことに驚かされました。福祉事務所などから依頼電話の応対や日程調整に大忙しでした。

長谷代表は「自宅はボランティアのためにいつでも開放しています。一人でも多くの参加を期待します」。

会員の声「両親が高齢のため、今のうちに介護資格をとりボランティアを始めたかった」。

- ◆活動日：随時
- ◆場 所：ボランティアすずかけ会事務所他
- ◆連絡先：☎・FAX(766)8975の長谷さん



情報コーナー イベントパーク 講座・コンサート他

●企画展～縄文の華

10月22日(日)まで、川崎市市民ミュージアム。晩期縄文文化の世界を紹介。一般900円、小～大生400円。

☎(754)4500。

●太陽の塔からのメッセージ～岡本太郎と EXPO'70展

10月28日(土)～来年1月28日(日)まで、川崎市岡本太郎美術館。「太陽の塔」の制作に至る道のりの紹介他。一般900円、小～大生500円。☎(900)9898。

●「そうせいしゅう 簇生聚」展

10月22日(日)まで、中村正義の美術館。風景画など40点を展示。一般500円、小中生200円。月火休館。☎(953)4936。

●①田辺翠香かな書と水墨画展 ②樋口忠之水彩画展

会場はスナック喫茶琴。①は10月14日(土)～28日(土) ②は10月28日(土)～11月25日(土)。☎(544)0507。

●神藤博美といきいきシニアの押し花展

11月7日(火)～12日(日)まで。場所は東京の銀座熊本館。麻

いま地域で学校で

歌声のある日常

—白鳥中学校合唱団

玄関の壁一面を飾るのはNHK全国学校音楽コンクール神奈川大会の表彰状。白鳥中学校(石原由美子校長、生徒453人)合唱団は上位入賞の常連です。同校は1979年の創立以来、合唱がたいへん盛んです。



「白鳥中に入ったらコーラスをやりたい」という小学生もいるほどよく知られた合唱団は、通常の部活動とは違い、合唱の好きな生徒たちで構成されており、いつも50人ぐらいが参加しています。メンバーの中には、放課後、部活動がある人もたくさんいるので、練習は昼休みにを行っています。昼食後、音楽室から歌声が流れて来ます。「校舎内に歌声が聞こえないと落ち着かない」と石原校長は語っています。

合唱団はコンクール出場だけでなく、学校行事で歌ったり、地域の福祉施設を訪問してお年寄りと交流するなどしています。これまでに緑陽苑、金井原苑、しらかし園を訪問し「春の小川」や「もみじ」などを、一緒に歌いました。

参加した生徒は「一緒に手拍子をしたり『ありがとう』と喋ってくれてうれしかった」「人の喜ぶ顔を見るのっていいなと思った」と話していました。

●母親クラブ・秋の講座～自己をみつめて今を生きる

10月13日～12月8日の隔週金曜10時、全5回。場所は平こども文化センター。講師は教育評論家の齊藤次郎さん他。受講料2000円。保育あり。☎(865)8056の堀内さん。

●たちばな・ふるさとセミナー～生活を彩る花と緑の知恵

11月25日(土)13時半、プラザ橋。講師は近藤三雄・東京農大教授。無料。先着50人。☎10月25日(水)10時から☎(788)1531。

●花壇づくり参加者募集～多摩区内の花壇

11月4日～来年2月24日の土曜14時(5回)と3月18日(日)9時。小学生以上30人、抽選。☎往復はがきに住所、氏名、年齢、☎を記し〒214-8570(住所不要)多摩区役所区政推進課内イメージアップ委員会まで。☎(935)3131。

生老人福祉センターの「押し花講座」受講生による作品展。無料。☎(944)8771の神藤さん。

●リトル クリチャーズ ライブ

11月17日(金)18時半開演。会場は川崎能楽堂。出演は青柳拓次、鈴木正人、栗原務。入場料3000円。チケット発売中。☎(222)8821の文化財団。

●創立15年記念 混声合唱団「樹林」演奏会

10月1日(日)14時半開演、東京の文京シビックホール。カール・オルフ「カルミナ・ブラーナ」他。全自由席2500円。☎(856)7688の小倉さん。

●みんなで楽しむ演奏会～第14回コーギーコンサート

10月8日(日)14時開演、糞ホール。声楽やピアノの演奏。無料。曲目はカッチーニ「アヴェマリア」、リスト「ハンガリア狂詩曲第2番」他。☎(812)6090。

●ランチタイムコンサート～シャンソン・歌と手で語る愛

10月18日(水)12時15分開演、市役所第3庁舎ロビー。出演は小林淳子(ボカール)、久富ひろむ(ピアノ)。曲目は「詩人の魂」「枯葉」他。無料。☎(222)8821の文化財団。

●第11回高津区民音楽祭

11月5日(日)16時15分開演、洗足学園前田ホール。無料。出演は区内で活動している市民アンサンブル、オーケストラ、合唱グループ他。高津区役所と橋出張所で整理券を配布中。☎(861)3132の高津区役所区政推進課。

●ひとみ座寄席

10月28日(土)15時と19時、ひとみ座スタジオ。出演は三遊亭小金馬、三遊亭歌る多他。前売1500円、小～高生900円。☎(777)2225。

●①プラザ紅葉寄席 ②映画劇場～マトリックス

①は11月18日(土)18時開演、川崎市民プラザ。出演は林家木久蔵、立川志らく他。前売1800円。10月2日(月)よりプラザフロント他で発売。②は10月21日(土)14時と18時上映。無料。当日先着500人。☎(888)3131。

●①子供劇場～きつねとごんろく ②クラシック演奏会

①は10月22日(日)11時 ②は11月5日(日)10時、会場は岡上小学校体育館。先着各150人。無料。当日直接。☎(988)0268の岡上分館。

●①わくわく実験ショー～地球環境を考える

②ガリレオ工房科学実験教室～宇宙実験を地上でやってみる

①は10月14日(土) ②は10月28日(土)、東芝科学館。時間は①②とも10時と13時半。①無料②300円。要予約。☎(549)2200。

●南身館フェスティバル

11月4日(土)5日(日)10時～15時。場所は川崎市南部身体障害者福祉会館。バザー、パソコンコーナー他。☎(244)3971。

●いきいきライブ講座～すこやかに安心して暮したい

11月10日～12月8日の毎木曜10時、全5回。場所は川崎授産学園。内容は「知って得する福祉概要」「レクリエーションを通したリハビリ」他。☎10月6日(金)から☎(954)5011。

●五川大学公開講座

10月開講の語学、美術、パソコン他20講座の受講生を募集。詳細は☎042(739)8895の同大学継続学習センター。

●講座～ネットワークセキュリティ

11月1日～22日の毎水曜13時半、全4回。場所は県立川崎図書館。インターネット社会の不正対策について学ぶ。受講料5000円。先着60人。☎10月20日(金)までに往復はがきに住所、氏名、☎、職業を記し〒210-0011 川崎区富士見2の1の4、同館産業情報課まで。☎(233)4537。

くらし百景 ステージ・アップ 柳壇

かわさき川柳の会

不運にも筋子のままで生を終え
目覚ましを三つ並べて大事な日
合併で首切る刃研ぎ始め
スーパ一の焼いたサンマに欠ける色
大胆になれとカクテル揺れている
ためらって買った和服で入園日
予報には無い夕立で虹に遭い
一票の重さにしては不勉強
お気軽に誘い込まれて羽根布団
多過ぎる記念日老いはもてあまし
掃除機に夫のチャイムかき消され
沈黙のしじまに迫るご宣託
人間は罪活き造りまだ動き
閉められた窓にオウムがまた不気味
追伸を真っ先に読む子の便り
時として前に出たがる影法師
酒になり済んだ決議がまたもめる
心づけ小銭なかなか見つけからず
わが娘教育ママに化けました
来年の景気の姿読み取れぬ
早朝の銀座は寒いウインドウ
さすがねとほめられて又木に登る

*かわさき川柳の会は誕生して十年。唐沢先生ご指導の心を忘れず続けています。これからもっと楽しく、新しい努力をします。

代表 川井 仁之

有馬 祥子	安藤 キミ	内田 洋一	枝村 洋一	大井川 竜生	大塚 幸子	岡部 しず	小山内 和子	柿添 弘子	川井 仁之	熊田 春恵	小林 潤次	佐藤 澄	下沢 喜代	須山 千代子	中野 立子	滑川 光雄	西倉 和代	堀内 和子	望月 佳子	水野 佐登	横山 美真
-------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

まち・ひと・多面体

地域で省エネや温暖化防止に取り組む
「川崎市地球環境保全行動計画推進会議」

川崎区の新町小学校では「学校の電気や部屋の電気をちゃんと消そう!」「見ないテレビは消そう!」という標語が掲げてあります=写真。子ども達の省エネ行動は、社会科の工場学習が発端でした。エネルギーの重要性、地球環境の大切さ、地球温暖化の防止などについて学ぶ中から省エネ教育が始まりました。子ども達の省エネ活動は、学校から家庭へ、そして地域へと広まっています。



今では省エネの取り組みをしている学校・家庭・町内会を「省エネ共和国」と呼んでいます。同共和国では地域の運動会やバザーに集まった人に省エネを呼びかける活

動=写真=などをして
います。

3年前、通産省の外郭団体「省エネルギーセンター」の協力で、新町小学校が取り付け



たエネルギー表示器（電力使用料金表示システム）の設置を希望する保護者に依頼しました。Aさん宅では前年度より月に2,000円以上の節電になりました。そのお金の使い道を家族で話し合い、お父さんの好きな浮島のつり公園へ行ったそうです。省エネで家族そろって楽しい一日を過ごしました。

川崎市では、昨年「川崎市地球環境保全行動計画推進会議」(宮田進会長・新町小学校長)が発足しました。川崎版環境カレンダーなどを作成した「市民部会」、各企業の環境対策の交流や温暖化対策の事例集を作成した「事業者部会」、省エネ活動を中心とした「学校部会」、温暖化防止の視点で役所システムの見直しを検討している「行政部会」がそれぞれ計画の具体化に取り組んでいます。学校部会では「省エネルギーセンター」のモニター制度などを活用し、エネルギー表示器を川崎区内のすべての小・中学校に設置しました。今後どれだけ削減ができたかということなどが検証される予定です。

問い合わせは川崎市環境局環境企画室 ☎044(200)2387